超りば愉快カンパニー

Oracle Database Appliance



生命保険事業を支える堅牢かつ 拡張性に優れたデータベース基盤を ODAで実現

銀行や証券会社の窓口販売でシニア富裕層向け保険商品を展開するニッセイ・ウェルス生命は、2018年に日本生命グループの一員となって以来、事業の急拡大を続けています。これに伴い、代理店向けシステムもより拡張性に優れたものへと刷新。そのデータベース基盤として、新たにOracle Database Appliance (以下、ODA)を導入しました。これにより、代理店の急増にも耐えられる性能および拡張性を備え、かつ高い可用性を併せ持つシステムの構築を実現しました。



ニッセイ・ウェルス生命

ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社

日本生命グループの一員として、銀行や証券会社の窓口 販売を通じて個人向け生命保険や年金保険、終身保険 など、さまざまな保険商品を提供しています。ますます 多様化するお客さまのニーズにお応えするために、今後 もきめ細かな商品・サービスを提供していきます。

本 社:東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower

設 立:1907年

資本金:480億円(資本準備金含む)

従業員数:434名

J R L:https://www.nw-life.co.jp/

(取材日:2019年7月)

POINT

将来の規模拡張に 柔軟に対応可能な データベース基盤を実現

7

データベースの可用性向上で 事業の中核を担う 重要システムの安定性が向上

専任のDBAがいなくても 効率的にデータベースを 運用可能に

3

課題

■新代理店システムのために 拡張性に優れたデータベース基盤が 必要とされていた

代理店向けWebシステムに接続

- ■代理店の業務に影響を与えない 高い信頼性の実現と可用性を 担保する必要があった
- ■DBAのスキルに依存しない 運用体制を模索していた

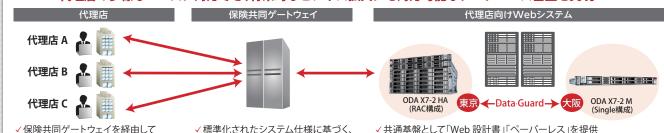
対 策

- ■システムの成長に合わせてCPUコアを 追加できる拡張性を備えたODAを導入
- Oracle Database EEの標準/オプション であるReal Application Clusters およびData Guardを採用
- ■Enterprise Managerの各種ツール の活用でデータベース運用の効率化 を図る

効 果

- ■初期導入コストを抑えながら、将来の 規模拡張に柔軟に対応可能なシステム を実現
- ■可用性と事業継続性に極めて優れた データベース基盤を実現
- データベースの専門スキルがなくとも 高度なデータベース運用が可能に

代理店の多様なニーズに対応でき、将来的なビジネス拡大にも対応可能なデータベース基盤を実現



✓ Data Guard で遠隔地データ同期を実現

Web ベースのインフラを提供

ステム概要図

Oracle Database Appliance

急速なビジネス拡大に伴い 見えてきたシステム課題

ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社(以下、 ニッセイ・ウェルス生命)は、銀行や証券会社など 金融機関の窓口販売(以下、窓販)チャネルにおい て、シニア富裕層向けの保険商品を販売する保険 会社として常に高い存在感を示しています。1907年 創業の同社は、横浜生命保険、板谷生命保険、 平和生命保険、エトナヘイワ生命保険、マスミュー チュアル生命保険と名前を変えながら、着実に業績 を伸ばしてきました。

その後2018年5月に日本生命グループの一員 となり、現在の社名に変わって以降は、ビジネス モデルにも変化が見られるようになりました。 ニッセイ・ウェルス生命 CTO IT本部 副本部長 加藤昭仁氏は、次のように述べます。

加藤氏 従来は限られた 窓販チャネルを通じた富 裕層向けビジネスに フォーカスしてきました が、日本生命グループ入り した後は、グループ全体 の窓販ビジネスの拡大に 寄与できるビジネス展開 が求められるようになっ



加藤昭仁氏

てきました。現在は特に、日本生命グループとの シナジーを最大限に生かして、地方銀行チャネル へのプレゼンスを高めることを目指しています。

こうしたビジネス戦略の変化に伴い、ITシステム に求められる要件も変わってきました。それまでは、 限られた規模のビジネスを着実に支えることがIT 基盤に求められてきましたが、日本生命グループ の一員となって以降は、今まで以上のビジネス拡大 に耐え得る処理能力や可用性、スケーラビリティ が求められるようになってきました。

「代理店Webシステム」の データベース基盤に求められる 数々の要件

こうした同社のIT戦略が最も色濃く表れている のが、代理店向けのシステムです。これは、同社の 保険商品を扱う代理店が顧客に勧める保険の 設計書作成や、加入申込手続をペーパーレスで行う ためのシステムで、従来は各代理店ごとに個別に 最適化したシステムをニッセイ・ウェルス生命が 自社で開発・運用していました。

日本生命グループ入りして以降、このシステム を約30行の地方銀行向けに、短期間の内に構築 する必要が出てきました。従来通り、各代理店向 けにそれぞれシステム最適化する設計・開発を行っ ていては、極めて高いコストがかかり、また開発期 間も長引いてしまいます。そこで同社はこの課題を 解決するために、「代理店Webシステム」と呼 ばれる新たな仕組みを構築することにしました。

加藤氏 どうしても個別対応が必要な代理店を 除き、基本的には全ての代理店に向けたシステム の機能を1つにまとめ、代理店ごとの違いや特色 をうまく吸収できる新たな仕組みを構築すること にしました。これによって、たとえ将来的にビジネ ス規模が拡大して代理店の数が増えていって も、コストや人手を抑えながらシステムを構築・ 運用していけると考えたのです。

こうした仕組みを実現する上では、データベース 基盤には柔軟なスケーラビリティだけでなく、代理 店が直接利用するシステムであるため、高い可用性 も確保する必要がありました。また社内に専属の DBAがいないため、専門家でなくとも効率的に 運用できる点も外せない条件でした。さらには、 短納期でシステム構築費用を抑えてコストメリット を得られること、代理店のユーザーが満足できる だけの高いパフォーマンスを発揮することも求め られました。

ODAで柔軟な拡張性と高い冗長性 ┃ を備えたデータベース基盤を実現

これらの条件を満たすデータベース製品を検討 した結果、同社が最終的に選んだのが、アシスト が提案したデータベースアプライアンス製品 Oracle Database Applianceでした。必要に 応じてCPUコアを追加することでシステムの パフォーマンスを柔軟に拡張できるODAは、 Oracle Database EE O Real Application ClustersやData Guardといった機能を活用し て極めて高い可用性を担保できます。

Oracle Databaseの管理ツールである Enterprise Managerの機能を最大限活用すれ ば、高度なスキルを持つDBAでなくともツールの GUIを通じて容易にトラブルを切り分けられます。 またサポート窓口はアシストに一本化されるため 複数のベンダーにサポートサービスを依頼する 必要もありません。

こうした点を高く評価した結果、同社は最終的に 代理店Webシステムのデータベース基盤として ODAを採用する決断を下しました。具体的な導入 作業は2018年6月に開始し、アプリケーションの テストや災害対策用サイトの構築などの作業を 行った後、同年11月には早くもカットオーバーに こぎ着けることができました。

加藤氏 ODAの導入・設置作業だけであれば、 実質的には1ヵ月程度で終えることができました。 またディスクはデータ領域・REDO領域ともに SSDで構成したため、極めて高いパフォーマンス を発揮しています。RACでアクティブ・アクティブ 構成の冗長化を行い、かつData Guardを使った 遠隔地間レプリケーションで災害対策も行ってい るため、可用性も大幅に向上しました。

今後は他システムのデータベースも ODAに集約

現在では、Enterprise Managerが備える Diagnostics PackやTuning Packといった オプション機能を活用することで、高度なDBA スキルを持たない担当者でもデータベースを確 実かつ効率的に運用できています。またラックス ペースも縮小され、最低限のコア数に応じた Oracle Databaseライセンスを利用することで、 データセンターコストやソフトウェアライセンス コストも最小限に抑えられています。

こうしてODAを導入して新たに代理店Web システムを構築したことで、同社は将来のビジ ネス拡大に十分耐え得るIT基盤の構築に成功 しました。今後はODA上に、他のシステムの Oracle Databaseも集約していくことで、さら なるコストメリットの向上や運用の効率化を図って いきたいとしています。

加藤氏 今後、社内の様々なデータを統合して いく必要があり、従来のようにETLやその他の ツールで複雑なデータ連携処理を行うのではな く、どんな種類のデータでもただデータベースに 放り込むだけで済むようなシンプルな仕組みを 実現していきたいと考えています。こうした構想を 実現していく上でも、アシストにはぜひ今後とも、 私たちのニーズを汲み取った価値の高い提案を 期待したいです。

お問い合わせは 株式会社アシスト

URL: https://www.ashisuto.co.jp/oda/ E-Mail: database@ashisuto.co.jp 阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F TEL:06-6373-7113

京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル

幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 16F TEL:011-281-1161 台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F

名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F TEL:052-232-8211 沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F

TEL:03-5276-3653 TEL:050-3816-0970

TEL:050-3816-0972

広 福

島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F 岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勧筑紫通ビル 9F 縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル 4F

TEL:050-3816-0974 TEL:092-481-7156 TEL:050-3816-0976